

「いじめの問題への対応状況の調査」結果（11月末現在）

令和7年(2025年)2月
北海道教育委員会

◆ 調査の概要

- 1 調査の趣旨
いじめの問題の未然防止、早期発見・早期対応の取組の一層の充実を図るため
- 2 調査対象校 <計1,527校>

札幌市立学校を除く道内全ての公立小・中・高等学校、義務教育学校、中等教育学校、特別支援学校
<ul style="list-style-type: none"> ・小学校750校（義務教育学校前期課程含む） ・中学校466校（義務教育学校後期課程及び登別明日中等教育学校前期課程含む） ・高等学校245校（全・定別、登別明日中等教育学校後期課程含む、通信制除く） ・特別支援学校66校
- 3 調査対象期間
令和6年（2024年）4月～令和6年（2024年）11月

◆ 調査の結果

	1. 認知したいじめの件数	対応状況				5. いじめの認知件数がない学校数
		2. 解消件数 ・ 心理的、物理的行為が 止み、相当の期間(3か 月程度)経過している。 ・ 心身の苦痛を感じてい ない。	3. 解消に向けて取組中の件数 ・ 心理的、物理的行為が 止んでいるが、その状 態が相当の期間(3か 月程度)経過していな い。 ・ 心理的、物理的行為が 止んでいない。 ・ 心理的、物理的行為が 止み、相当の期間(3 か月程度)経過してい るが、心身の苦痛を感じ ている。		4. その他	
令和6年度 第3回 (4月～11月)	38,495	19,480 (50.6%)	18,756 (48.7%)	245 (0.6%)	14 (0.04%)	274 (17.9%)
小学校	31,730	16,002 (50.4%)	15,564 (49.1%)	158 (0.5%)	6 (0.02%)	97 (12.9%)
中学校	5,578	2,920 (52.3%)	2,605 (46.7%)	49 (0.9%)	4 (0.1%)	77 (16.5%)
高等学校	1,077	491 (45.6%)	545 (50.6%)	37 (3.4%)	4 (0.4%)	57 (23.3%)
特別支援	110	67 (60.9%)	42 (38.2%)	1 (0.9%)	0 (0.0%)	43 (65.2%)

※ () は、認知したいじめの件数及び学校数に対する割合

◆ 調査の結果(令和5年11月末)

	1. 認知したいじめの件数	対応状況				5. いじめの認知件数がない学校数
		2. 解消件数 ・ 心理的、物理的行為が 止み、相当の期間(3か 月程度)経過している。 ・ 心身の苦痛を感じてい ない。	3. 解消に向けて取組中の件数 ・ 心理的、物理的行為が 止んでいるが、その状 態が相当の期間(3か 月程度)経過していな い。 ・ 心理的、物理的行為が 止んでいない。 ・ 心理的、物理的行為が 止み、相当の期間(3 か月程度)経過してい るが、心身の苦痛を感じ ている。		4. その他	
令和5年度 第3回 (4月～11月)	32,351	16,155 (49.9%)	16,035 (49.6%)	141 (0.4%)	20 (0.06%)	307 (19.9%)
小学校	26,678	13,191 (49.4%)	13,391 (50.2%)	85 (0.3%)	11 (0.04%)	106 (13.9%)
中学校	4,613	2,472 (53.6%)	2,098 (45.5%)	38 (0.8%)	5 (0.1%)	83 (17.7%)
高等学校	922	424 (46.0%)	476 (51.6%)	18 (2.0%)	4 (0.4%)	70 (28.5%)
特別支援	138	68 (49.3%)	70 (50.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	48 (72.7%)

※ () は、認知したいじめの件数及び学校数に対する割合